

切磋琢磨

能登香島中学校

学校だより 第8号

令和5年11月2日



〒926-0178 七尾市石崎町香島1丁目96番地 TEL:0767(62)2837 FAX:0767(62)4707
HP:<http://www.city.nanao.ishikawa.jp/notokashimatyu>

より楽しく、過ごしやすい学校にするために ～活動目標のもとで後期生徒会がスタート～

9月末に前期生徒会役員からバトンタッチされた後期生徒会役員。生徒会長をはじめとした生徒会執行部4人は個々の公約のもと、「より楽しく、過ごしやすい学校」を築くことを目標に各種の活動を提案しました。

＜生徒会長＞ 高尻 菜緒

「生徒会活動を馴染みのあるものにし、ずっといたいと思えるような楽しい学校をつくる」

＜生徒会副会長＞ 多胡 飛鳥

「地域に貢献できる学校をつくる」

＜生徒会副会長＞ 鹿山 萌々

「全校生徒が過ごしやすい学校を創る」

＜生徒会書記＞ 山口 龍真

「メリハリをつけて、笑顔いっぱいの学校をつくる」

「目標達成のための3項目」

- (1) 全校生徒が参加できるイベントをつくる
- (2) 全校の意見に耳を傾ける場の設定
- (3) 充実した授業づくり

生徒会では、クラスアピール運動やアンケート等で生徒の意見を聞くこと、また、授業については「理想の授業三ヶ条」の振り返りや各クラスでの「一点突破」の設定、更にはボランティア活動としてアルミ缶回収や学校近隣の清掃活動の継続など、主体的な取組を行い、より良い学校にしたいと考えています。生徒会の一つ一つの取組が能登香島中学校の新しい歴史をつくり、地域に自慢できる学校を築くことにつながります。学校では積極的に生徒会の活動を支えていきたいと考えています。

「ジャンボ アフリカ！マサイの戦士がやって来る」～国際理解教室を実施～

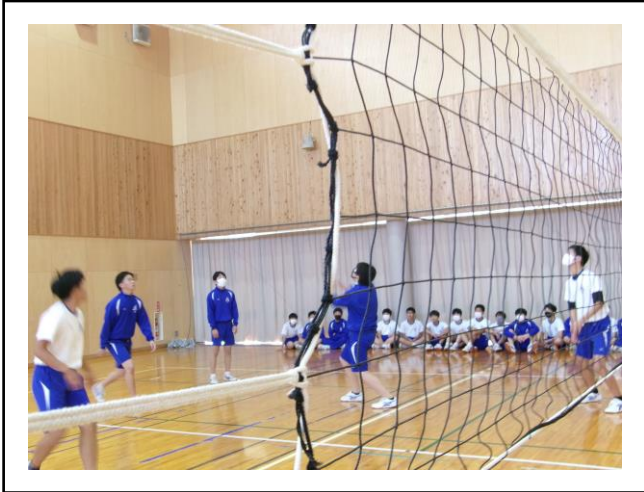
10月17日(火)、マサイ族のジャクソン・オレナレイヨ・セイヨさんと奥様の永松真紀さんを講師に国際理解教室を開催しました。ケニアには47の民族がおり、マサイ族は少数民族ながらも、とても勇敢な民族とのことです。今はスマホが普及し、政府によって開発も進んでいるとのことですが、民族にとって大切なこととして「目上の人を尊敬すること。その人達がいたからこそ今の自分達がいる。また、下の人達も尊敬すること。それによって良い人間関係や協力が築かれる。」と、人としての在り方について語っていただきました。



スローガン Go for it! 「目標に向かって頑張る」

レクリエーション大会と学校文化祭「NOKA Culture Day」

10月19日（木）にレクリエーション大会を、10月21日（土）に学校文化祭「NOKA Culture Day」を実施しました。レクリエーション大会は生徒会の発案により、赤団と青団の縦割り団で競いました。当日、体育館ではバレーボールとバスケットボール、運動場ではクラス対抗全員リレーをはじめ、大玉転がしや綱引き、団対抗選抜リレーなど、どの競技でも「頑張れ」の大きな声援と拍手が飛び交い、生徒全員が一体感をもって盛り上がりました。



他者の意見を取り入れ、自分の学びにつなげる「NOKA Culture Day」

「今日のねらいは、学年を超えた発表や意見を通して普段と違った自分の学びにつなげることです。」
これは開会式での生徒会のあいさつの言葉です。生徒会では NOKA Culture Day を通してお互いに切磋琢磨し合い、一人一人が成長できることを考えました。

当日は普段の学習成果の発表を中心として各学年代表による総合的な学習の時間における調査内容をはじめ、私の主張や英語スピーチコンテスト出場者による発表、特技披露、合唱コンクールなどを行いました。また、コーラスグループ W I S H による合唱披露では3年生徒と一緒に歌うなど、様々な発表に生徒の真剣な表情、笑顔、笑い声、そして応援の声などが響き、楽しさとともに一人一人の一生懸命さを感じることができました。



実現された目指す姿！ 生徒会長 高尻 菜緒

レクリエーション大会では一人一人が勝敗にこだわり、全力で競技に取り組み、また、団のメンバーを思いっきり応援する姿が見られました。

NOKA Culture Day での全校意見交流では相手の意見を取り入れ、自分の意見をよりよいものにしようとする積極性が見られました。合唱コンクールでは練習の成果を発揮しようと、クラスがー丸（いちがん）となって歌う姿に一体感が感じられました。生徒会が目指した姿を生徒みんなまで頑張り、実現できたことがとてもうれしかったです。

今後は充実した授業を目指し、各クラスで目標を立てる予定です。その目標を達成する過程の中で、レクリエーション大会や NOKA Culture Day で自分自身が考えたこと、身に付けた力を全校で発揮していきたいと思います。

将来に向けてどんな力を身に付ければいいのか？

～NOKA Culture Day 全校意見交流会～

生徒会による NOKA Culture Day での恒例企画、全校意見交流会では「将来、社会において必要な力とは何か」を考えることで、生徒個々の自己指導能力を向上させ、生徒全員が楽しく生活できる学校、地域に自慢できる学校にしたいと生徒会は考えました。

事前の生徒アンケートからは、将来に向けて身に付けておくべき力は、1位「あいさつ」、2位「コミュニケーション能力」、3位「学力」、4位「敬意」でした。当日はこの4つの力を中心に意見交流をしました。生徒からは「コミュニケーション能力が大切。なぜならばコミュニケーションがとれないと、物事は何も始まらない。」や「学力は大切だが社会で必要のない学力もある。」といった意見、また、「実際に仕事をする上ですべてが大切だと思う。」といった意見が出されました。司会者の「大切だとわかっていても、実際はできない、やらないのはなぜか。」の問いに「今のことだけを考えて、将来のことを考えていないから。だから勉強などをしない。」や「こうして話し合ったり、考えたりしたことを普段の行動と切り離して考えているから。」などの意見がだされました。参加いただいた保護者の方からは、「(話し合った) 全部の力が揃うことで会社としての力が高まる。」や「自立して生きていくためには人と関わるためのあいさつやコミュニケーション能力は必要。目上の人に話しかける時には敬意が必要であり、更には学力がないと会社で働く時など、社会の中ではわからないことが多くなる。」と、貴重なお考えを生徒にお話いただきました。

将来に向けて「無名塾」進藤健太郎さんからビデオメッセージ

生徒会では、将来、必要と思われる力について、「無名塾」の俳優である進藤健太郎さんからビデオメッセージをいただきました。メッセージの中で進藤さんは「自分は普段、物事に慣れるな・なめるな・手を抜くなということ意識している。」や「人と接する上であいさつは大切。中でも相手の名前を呼んであいさつすることが、お互いを認知し合う相手意識となる。」と語られました。最後に「勉強はいつでもできるが、勉強できる環境は今の学校生活しかない。また、ある日突然、大人になるのではなく、大人は今の延長線上にある。だから、今を大切にすることが大切である。」と生徒にメッセージをいただきました。

<11月の行事予定>

- 1 (水) 学校公開 (授業参観・講演)
- 3 (金:祝) フレッシュマンコンサート
(吹奏楽部出演)
- 5 (日) のとじまふれあい祭り (吹奏楽部出演)
- 7 (火) 3年生第1回地域学力調査 (～8)
- 8 (水) 生徒会委員会
- 12 (日) 七尾市民文化祭 (吹奏楽部出演)
- 13 (月) 学校評議員会
- 14 (火) 3年生の保護者対象進路説明会
- 16 (木) 教育相談 (～17)
- 20 (月) 期末テスト前部活動休止 (～27)
- 24 (金) NOKA 読書タイム・PTA役員会
- 27 (月) 期末テスト (～28)
- 28 (火) 小中交流事業・入学説明会
- 29 (水) 全校集会
- 30 (木) 3年三者懇談 (～12/1)

おめでとう！各種賞典の記録

- 全能登中学校新人バレーボール大会 3位
- 石川県中学校新人相撲選手権大会
団体 3位
個人 3位 杉原 聖椰
- 七尾市ごみのポイ捨て防止PRポスター
銅賞 清水 紗季
- 英語スピーチコンテスト
優秀賞 清水 翔生 山本 愛葉

スクールカウンセラー来校日

11/1 (水)・8 (水)・13 (月)・20 (月)・29 (水)

Let's call..オアシスライン ～親と子のなんでも電話相談室～

TEL 0767-52-0783 受付時間: 13:00～16:00(月曜～金曜)